

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月14日

計画の名称	15 活気に満ち思いやりにあふれた地域・社会の形成(防災・安全)												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	福島県												
計画の目標	新潟・福島豪雨(H23.7)被災地における道路ネットワークを強化する道路整備を推進し、活気に満ち思いやりにあふれた地域・社会を形成する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,634	A	7,634	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成30年度(平成21年度指 標)	中間目標値 令和2年度	最終目標値 令和4年度
1	福島県内全体の道路交通における死傷事故率の減少 死傷事故率 [死傷事故件数(件)]/[総走行台 ^千 (億台 ^千 /年)]	71件/億台 ^千 ・年	67件/億台 ^千 ・年	64件/億台 ^千 ・年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 352号 中山峠 拡幅	現道拡幅L=2.2km	南会津町						1,180	1.77	-
	A01-002	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 352号 福渡拡 幅	現道拡幅L=2.0km	南会津町						899		-
	A01-003	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 459号 堂山拡 幅	現道拡幅L=2.3km	喜多方市						1,401		-
	A01-004	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 459号 藤沢	バイパスL=1.7km	喜多方市						1,082		-
	A01-005	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 459号 見頃	現道拡幅L=1.5km	喜多方市						572		-
	A01-006	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	(国) 400号 沼新田	現道拡幅L=1.1km	西会津町						1,100		-
	A01-007	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	改築	(主) 霊山松川線 逢隈 橋工区	バイパスL=1.2km	福島市						400		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	改築	(主) 喜多方西会津線 峯工区	バイパスL=1.5km	喜多方市						1,000	1.26	-
											小計						7,634		
											合計						7,634		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福島県において評価を実施する。	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 福島県公式ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・福島県内全体の道路交通における死傷事故減少を推進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き幅員狭小部や線形不良部の改善を推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	[死傷事故件数（件）] / [総走行台 ^千 （億台 ^千 /年）]	
	最終 目標値	64件/億台 ^千 ・年
	最終 実績値	64件/億台 ^千 ・年
		計画どおり